NTJU News

発行所：ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合
住　所：京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人：山本　明広　　編集人：小田　一義

2022-No.9
2023年 3月 1日

2023年総合労働条件改善闘争

速報①

CONTENTS

・NTJU―NTCJ　No.1交渉
・第2回 職場統括委員会
・闘争日程

継続した「人への投資」を求め要求書を提出

冒頭、山本執行委員長より、小山社長へ今闘争の要求に関する申入書を提出した後、組合より要求内容（賃金・一時金）についての説明を行い、会社からは、現時点での認識について表明がされました。

1　NTJU ― NTCJ　No.1交渉　2月27日(月) 14時～

組合　継続した「人への投資」で全ての従業員が魅力を感じる組織づくりを

今春闘では、この組織に人が集まる理由を考えたい。現在所属する組織の存在意義をどのように受け止めているか、あるいは受け止めていたのか、確認したいと考える。

今春闘では、これまでの日本の賃上げ率のトレンドからは逸脱していることを承知のうえで、高水準の要求をしたいという組合員の意見が多く聞かれた。根拠としてはグローバル経済における物価高や労働力不足が背景にはあるが、Ｎｕｖｏｔｏｎの従業員にとってみれば、企業も人も両者が成長すれば、若年層からネクストキャリアパートナー、さらには非組合員も含めた全ての従業員の賃金が上がる会社であり、賃金を上げようと努力する会社である、というメッセージが必要だと感じている。

さらに、このコロナ禍の行動変容で、価値観が変わってきている。在宅勤務やＷｅｂ会議など、働き方が変化し、効率的に業務を進められたり、一人で熟慮熟考できる環境が生み出された一方、多様な考え方や価値観を持つ人同士が膝をつめて徹底的な論議、熟議をする機会が減る、他人の業務に関心が無い、知の探索への興味が薄れてしまう、など補いきれていない部分もあるのではないかと感じている。

闘争を通じて、労使で組織やチームのめざしたい魅力について話し合い、より強固な経営体質を創り、未来につながる、未来につなげる春闘にしたい。会社側の真摯な対応をお願いする。

交渉にて会社側より海外出張旅費基準改定の申入れを受けました。詳細は次回縮小交渉で確認していきます。

会社　難課題に挑戦している従業員に感謝 投資成果を得るために2023年が正念場

労働組合の要求に対し、経営状況を鑑みて真摯に論議していきたいと考える。今後も急速かつ激しい環境変化が予想されるなか、グローバル半導体専業メーカーとして常に変化する市場に対応したスピード感ある対応に加え、従業員一人ひとりの成長、変化対応力を高めて厳しい市況でも安定した事業運営ができる体質にしていくことが重要である。会社としては現在、全部門で様々な活動に挑戦し、商流変更や新ＩＴシステムへの移行、適正販売価格への改定、品質問題への対応など、難しい局面や課題に対して全員一丸となって推進しており、その従業員一人ひとりの労に報いていきたいと考えている。

一方で、直近ではエネルギーコストの増大や原材料費の高騰、為替影響や自社の在庫増などにより、２０２２年度の４Ｑは特に厳しい状況となっている。今後、継続した事業成長をしていくためには２０２２年度を乗り切ることが重要であり、最後まで利益確保にこだわった経営を行っていく。

２０２３年度は、前体制から引き継いだＴＳＡが終了し、ＩＴインフラを含めた新体制への切替が最終局面を迎え正念場となる。そして多様な社員がそれぞれの力を最大限発揮し、より働きがいのある会社に変革していくには、人への投資だけでなく、インフラ面や生産能力増大など将来に向けた投資も重要であり、恒常的な総額人件費増につながる組合要求に対する回答は慎重な判断が必要となる。会社側としても今春季交渉に真摯に対応していきたいと考える。ご協力をお願いする。

2　第2回 職場統括委員会　2月22日(水)17時30分～

2023年総合労働条件改善闘争議案　満場一致で可決

２月２２日のＮＴＪ労組第２回職場統括委員会において２０２３年総合労働条件改善闘争議案について満場一致で可決確認されましたので報告します。

山本執行委員長挨拶(要旨)

２０２３闘争では、組合上部団体である連合が５％の賃上げ、金属労協は６，０００円以上、電機連合は７，０００円以上という賃上げ要求方針があり、ＮＴＪＵとしては９，０００円の要求に至った。さらにもう一つの視点として過去の比較では、２０２２闘争では３，０００円、２０２１闘争では２，０００円、２０２０闘争では３，０００円と、過去３年と比べても９，０００円の要求額は高水準となりモードチェンジをしている。この過去の延長線上にない要求額により、デフレマインドからの脱却に一石を投じたいと考えている。

当然、過去の延長線上にない分、会社との交渉は厳しくなると覚悟している。すでに経営側からは２０１４年以来９年間で１３，５００円の賃上げをおこなっているではないかという主張が始まっている。しかし、ＮＴＪＵとしては、経済の高循環を促す社会的な責任を全うするという意味での賃上げ、グローバル水準で負けないＮｕｖｏｔｏｎの存在価値を上げる賃上げ、世界的なインフレ率を上回る賃上げ、企業の持続可能性を担保するための人への投資、デフレマインドを払拭する賃上げを主張のポイントして交渉を展開していきたい。

春闘の交渉を行うのは執行部であるが、結果は全組合員で負うことになる。ぜひ組合員の皆さんにおかれましても交渉状況に着目頂き、職場からの交渉のサポート、ご意見を頂きたい。

未来につながる未来につなげる春闘にしていきたいと考えているので、よろしくお願いします。

3　闘争日程

２月２７日（月）	Ｎｏ.１交渉（要求提出）
２月２８日（火）	選挙管理委員会（スト権移譲投票開始）
３月１０日（金）	Ｎｏ.１縮小交渉
１５日（水）	Ｎｏ.２縮小交渉
１７日（金）	Ｎｏ.３縮小交渉
２０日（月）	Ｎｏ.４縮小交渉
２２日（水）	Ｎｏ.５縮小交渉
２３日（木）	Ｎｏ.２交渉（回答指定日）
４月２４日（月）	第３回職場統括委員会（闘争集約）

全員の意思結集をスト権移譲投票に示そう！

2023年総合労働条件改善闘争要求を決定し、各職場においてスト権移譲投票（電子投票）が実施されています。スト権移譲投票は、ＮＴＪ労組へ無期限のスト権を委譲するものです。スト権移譲を高率で確立することが、私たちの要求に対する期待と決意の高さを示すことになります。

交渉は、平和交渉・平和解決を基本に最大限の努力を行いますが、交渉の展開・状況によっては、いかなる事態にも対応ができる万全の体制固めが必要です。